

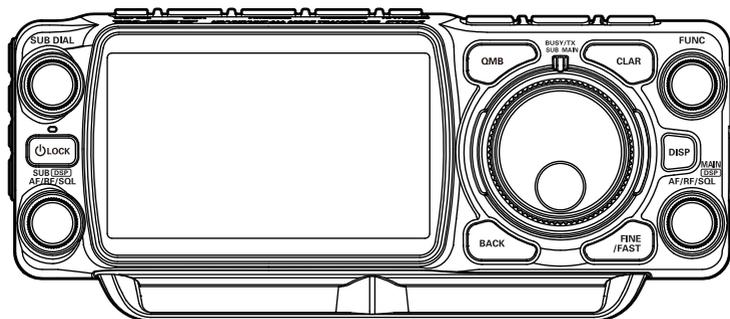
YAESU

Radio for Professionals

HF/50/144/430MHz ALL MODE TRANSCEIVER

FTX-1 series

取扱説明書 (GM 編)



製品の仕様・外観等は改良のため予告なく変更することがあります
この取扱説明書に記載の社名・商品名等は、各社の商標または登録商標です
この無線機を使用するには、総務省のアマチュア無線局の免許が必要です
また、アマチュア無線以外の通信には使用できません
この取扱説明書は「GM 機能」に関する説明が記載されています
基本的な操作に関する説明は、本製品に同梱の取扱説明書をお読みください

目次

GM 機能とは？	2
GM 機能を使う	2
APL (Automatic Position Locating) 画面	3
コンパス画面の表示方法を切り替える	3
受信したメッセージを確認する	4
MESSAGE(メッセージ)を送信する	5
新規にメッセージを作成して送信する	5

GM 機能とは？

GM(グループモニター)機能は、同じ周波数で GM 機能を動作させている局や DN モードで運用している局が通信範囲内にいるかどうかを自動的に確認して、コールサインごとに距離と方位などの情報を画面で確認することができます。

DG-ID 番号を“00”以外にしている場合は、GM 機能をオンにしている同じ DG-ID 番号に設定した仲間が交信可能範囲にいるかどうかをチェックします。また、仲間の誰が通信圏内にいるか分かるだけでなく、自局を中心とした仲間の位置(最大 9 局まで同時表示)とそれぞれの進行方向がコンパス画面で表示されますので、お互いの位置や距離、移動方向などを瞬時に確認できます。

さらに GM 機能を使って、仲間との間でメッセージを送ることもできます。



- GM 機能を動作させると、通信モードが自動で C4FM デジタル(DN)モードになります。
- GM 機能は、仲間と同じ周波数で運用してください。
- 受信の DG-ID 番号を“00”以外に設定すると、同じ DG-ID 番号の信号以外は受信できませんのでご注意ください。



メッセージの送受信をするには市販の microSD カードを本機に挿入してください。下記容量の microSD メモリカードまたは microSDHC メモリカードに対応していますが、市販されているすべての microSD メモリカードと microSDHC メモリカードの動作を保証するものではありません。また、microSDXC メモリカードには対応していません。

・2GB ・4GB ・8GB ・16GB ・32GB

GM 機能を使う

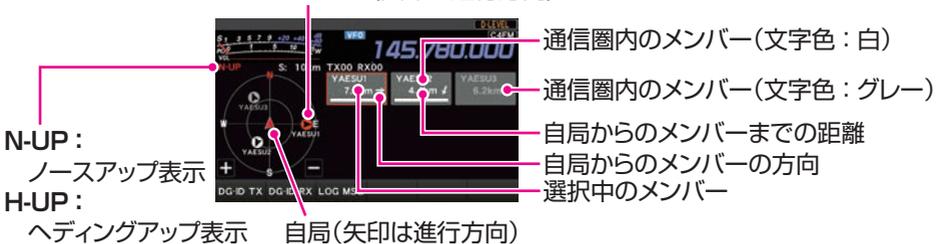
1. 仲間と周波数をあわせませす。

- 仲間の位置情報だけを確認したい場合には、[DG-ID TX] または [DG-ID RX] にタッチして、すべての仲間の局で送信(DG-TD TX)と受信(DG-TD RX)の DG-ID 番号を“00”以外の同じ番号に設定します。
- GM 機能が動作中は周波数の変更はできません。

2. GM/V/D キーを押します。

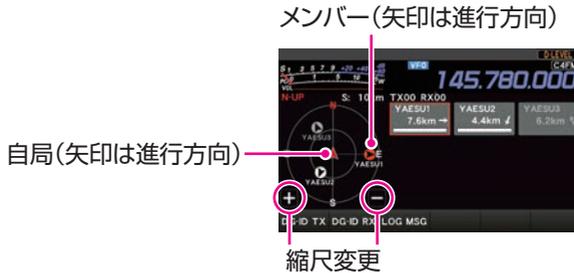
- GM 機能が動作して、同じ周波数で GM 機能を動作させている局または、DN (V/D) モードで運用している交信圏内にいる局が最大 24 局まで表示されます。
- 交信可能なメンバーのコールサインは白色の文字で表示され、自局からのメンバーの距離や方向が表示されます。
- 圏外になったメンバーのコールサインはグレーの文字に変わります。
- PTT スイッチを押して、C4FM デジタルの DN モードで交信ができます。

メンバー(矢印は進行方向)



APL (Automatic Position Locating) 画面

APL 画面では、自局を中心としたメンバーの位置(GM 機能で最後に受信した 9 局のメンバーを同時に表示)とそれぞれの進行方向がコンパス画面で表示されますので、お互いの位置や距離、移動方向を瞬時に確認できます。



- GM 機能で最後に受信したメンバーの 9 局が APL 画面に表示されます。表示されている局は画面左側にコールサインの先頭 6 文字で表示されます。
- 自局を中心としてメンバーの方向と距離がコンパス画面に表示されます。自局とメンバーの進行方向も確認することができます。
- コンパス画面の縮尺は APL 画面を表示させたときに、選択していたメンバーの距離にあわせて自動的に設定されますが、画面の“+” / “-” にタッチして画面の縮尺を変更することもできます。APL 画面でメンバーの位置を表示できる範囲は最大で半径 1,000km です。

コンパス画面の表示方法を切り替える

コンパス部分にタッチすると、画面の表示方法(画面上側の方向)が“HEADING UP”(ヘディングアップ)と“NORTH UP”(ノースアップ)に切り替わります。工場出荷時設定は“NORTH UP”です。

N-UP : 常に北(N)が上になるよう表示され、自局の進行方向を示す矢印が回転します。

H-UP : 常に自分の進行方向が上になるように表示され、コンパスリング(N、S、E、W)が回転して表示されます。

N-UP : ノースアップ表示
H-UP : ヘディングアップ表示



受信したメッセージを確認する

受信したメッセージを確認します。



GM 機能を使っているときに、新たにメッセージを受信すると、ピープ音が鳴って、自動で“LOG MSG”のリスト画面(以下の手順 3 を参照)が表示されます。

1. **GM/**キーを押して GM 機能を動作させます。
2. **[LOG MSG]**にタッチします。

“LOG MESSAGE”画面が表示されます。



3. **FUNC** ツマミをまわして表示するメッセージを選択して **FUNC** ツマミを押します。

タッチして選ぶこともできます。

- 選択したメッセージが表示されます。
- 画面のアイコンは、以下の内容を表しています。

アイコン	説明
	受信したメッセージ(未読)
	受信したメッセージ(既読)
	送信したメッセージ(ACK 受領)
	送信に失敗したメッセージ(ACK 未受領)



- メッセージを選択して **[DELETE]** にタッチすると、“**DELETE?**”と確認画面が表示されます。**[OK]** にタッチするとメッセージが削除されます。
4. LOG MESSAGE 画面で **[BACK]** キーを押すか **[BACK]** にタッチすると、コンパスと相手局の一覧表示画面に戻ります。

MESSAGE(メッセージ)を送信する

新規にメッセージを作成して送信する

新規に作成したメッセージをメンバーに送信します。

1. **GM/LOG** キーを押して GM 機能を動作させます。
2. **[LOG MSG]** にタッチします。
“LOG MESSAGE” 画面が表示されます。



3. **[NEW]** にタッチします。



4. **[EDIT]** にタッチします。
文字入力画面が表示されます。



5. 画面のキーボードにタッチして文字を入力します。
文字の入力方法は、取扱説明書 < 基本編 > の“文字入力画面の操作”を参照してください。



6. 入力が完了したら **[ENT]** にタッチします。
メッセージの全文が表示されます。
7. **[SEND]** にタッチします。
8. **[ALL]** にタッチするとメッセージが送信されます。
 - 特定の局を宛先に指定する場合は、**FUNC** ツマミをまわして相手局を選択して **FUNC** ツマミを押すとメッセージが送信されます。
相手局の選択は、タッチして選ぶこともできます。



- 交信圏外の局は選択することができません。
- 宛先とは、画面の宛先部分に“ALL”と表示させるか、“特定の局のコールサイン(名前)”を表示させるかの違いです。特定の局のコールサイン(名前)を宛先に指定しても、同じ周波数で GM 運用中の交信圏内にいる局はメッセージを見ることができます。

YAESU

Radio for Professionals

本製品または他の当社製品についてのお問い合わせは、お買い上げいただきました販売店または、当社カスタマーサポートをお願いいたします。

八重洲無線株式会社 カスタマーサポート

電話番号 0570-088013

受付時間 平日9:00～12:00、13:00～17:00

八重洲無線株式会社 〒140-0013 東京都品川区南大井6-26-3 大森ベルポートD-3F
